

民営化された図書館のカウンターサービス	1
単純にみえる資料案内の奥行き	7
三人の作家と自由寛大な図書館の係わり	13
図書館民営化の実態を、現場から検証する	19
広域貸出と図書館員の主体性	53
図書館についてのアンケート調査をどう読むか	59
『雑司ヶ谷R. I. P.』問題のその後	65
イベント志向から静かな生き方へ	71
小規模図書館の可能性	77
不正確な引用の一人歩き	83
建築雑誌と図書館の評価	89
『図書館に通う―当世「公立無料貸本屋」事情』を読む	95
「中小レポート」五〇年の年に	101
「こんな民営化なら認める」のか	106

入館者数というあいまいな統計数値	116
再び、何かおかし「利用者満足度」	122
図書館と書店の役割の違い	127
思いがけない本との出会いから	132
話題になった図書館の今	138
利用者アンケートと図書館評価のちぐはぐ	143
林真理子×樋渡啓祐「公立図書館は無料貸本屋ではいけない」を読む	149
『はだしのゲン』 閲覧制限問題と図書館の役割	155
武雄市図書館の一年	170
あとがき	176